

環境負荷ゼロに向けたHondaの電動化技術の進化

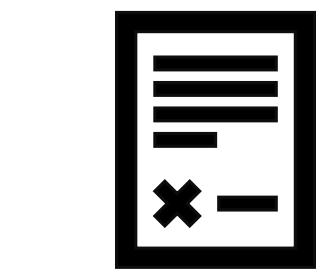
電動生活をスムーズにするパーソナル充電レコメンド

EVユーザーが経路充電時に直面する公共充電でのストレス*を低減し、経路充電のわずらわしさを有効時間に変換する

*ストレス1：体感時間が長い充電時間の活用が難しい *ストレス2：使用できない充電器に案内されることがある

技術内容

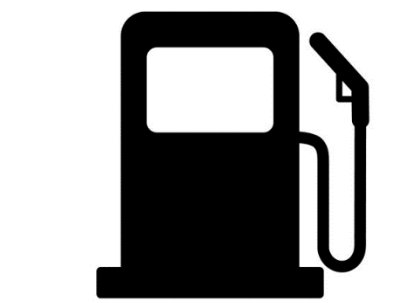
ユーザーデータ
(音声やり取り、
ユーザーアクション)



車両データ



充電器データ



SNSデータ



画像データ



品質の高い充電器の選定

充電器	指標1	指標2	指標3	優先度
A	5	2	5	3
B	5	5	2	1(最優先)
C	4	4	5	2

データ収集 × 分析基盤 × AI



品質の高い充電器への案内と
ユーザーの好みや傾向分析結果から
充電中の過ごし方を提案

スマホ or IVIで
提案内容を表示



② 興味の推論

The following is the information of the stop points during my car trip in the same day. The information includes stop duration and possible visited places nearby the stop point in csv format. It's uncertain that which place is visited so please find out the most possible one from the relationship of stop points.

Stop point 1:
- Duration: 4.98 hour(s)
- Nearby places: <csv>
Distance,Category
51,Banquet Hall
55,B2B Sales and Services
111,Tourist Information
128,sporting goods store
189,Variety Store
118,Specialty Clothing Store

停車位置から
立ち寄り箇所出し

立ち寄り箇所から
興味・目的を推論

<Interests> Children, Children's Museum
<Purpose> Family Outing

技術の特徴

	技術課題	Hondaのアプローチ
品質の高い充電器の選定	充電器使用可否情報の更新遅れ	CPO*開示情報に加えHonda分析基盤に蓄積する充電に関わる車両取得データ履歴を活用し、使用可否を予測判断 その情報をユーザーにいち早く提供する * CPO : Charging Point Operator
	充電器使用可否予測のための充電セッションの失敗判別	ユーザーの充電行動に関するカスタマージャーニーベースでユーザーとの接触ポイントごとに特徴量とその閾値を作り、ユーザーがどのポイントで充電を失敗したのかを明らかにする
	予測可能な充電器数の拡充	Honda車両データだけではなく、各種社外データも積極的に活用し、Hondaが自信をもって案内できる品質の高い充電器を十分に確保する
充電中の過ごし方提案	ユーザー理解	タッチポイントによる音声対話データ、車両の移動履歴によりユーザ人物像を同定する
	車内シチュエーション理解	時刻、天候、車内カメラ情報、音声やり取りなどAIにて状況認識を行い、状況に応じて充電案内先の優先度を変化させる

データ収集とAI分析により、高品質な充電器への案内と充電中の過ごし方提案、快適なEVライフを提供する